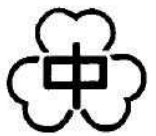


# クローバー



校訓

健康  
友愛  
忍耐

校是

なしとげる  
(成就)

2月号

## 学校評価について

山崎南中学校 教頭 谷尻 恒博

校区の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。平素は本校の教育活動に格別のご支援・ご協力を賜っておりまして、心から感謝申し上げます。

さて、今年度の本校の教育活動につきまして、昨年十二月に「学校評価アンケート」をお願いしたところ、保護者の皆様から評価や貴重なご意見をいただきましたので、その結果をお知らせいたします。

今年度本校では、次の三点を重点目標として取り組んでいます。

### 《令和五年度学校重点目標》

①「信頼される学校づくり」

②「社会的自立に向けて自ら挑戦し続ける生徒の育成」

③「豊かな人間性・専門性を持ち人権感覚のある教師の育成」

アンケートは、これらの重点目標に沿って、生徒・保護者・教職員の三者で実施しました。

### 《評価方法》

- A 「そう思う」 四点
- B 「どちらかといえばそう思う」 三点
- C 「あまりそう思わない」 二点
- D 「そうは思わない」 一点

の四段階で評価して、全体の平均を取って点数化したものです。アンケート結果を基に、今年度の重点目標の成果と課題を明らかにし、改善すべき点については次年度に向け、重点課題として取り組んでいきます。紙面では、アンケート結果を提示し、次年度に向けての課題と改善を挙げさせていただきます。

#### ①「信頼される学校づくり」

保護者・地域への情報提供については、定期的な校報・通信の発行やホームページの更新を頻りに行うことで充実したものにすることができました。特に、ホームページについては、日頃の生徒の様子や必要な情報を毎日発信することができ、保護者や地域の皆様から評価をしていただきました。今後も、保護者や地域に求められる情報発信に努めてまいりますので、ホームページをご覧ください。

①「信頼される学校づくり」

評価項目	保護者	生徒	教師
学校からの情報提供	3.5	3.7	3.7
登下校の安全対策	3.1	3.8	3.2
学校における安全教育	3.1	3.7	3.2
健康教育の充実	3.3	3.8	3.3
生徒指導の充実	3.3	3.7	3.4

ラーや教育支援センター等の関係機関との連携をより一層深めるとともに、問題行動の未然防止や早期対応の意識を全教職員が高め、生徒が安心して過ごせる環境づくりに努めます。

#### ②「社会的自立に向けて自ら挑戦し続ける生徒の育成」

学習指導については、学習規律（山南スタンダード）の確立や、生徒会を中心とした「聞く姿勢を大切にする」取組等により、全体的に落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組んでいます。また、生徒たちの各授業に対する評価を見ると、授業には楽しく前向きに臨んでいることがわかります。一方で、保護者アンケートからは基礎・基本の定着や家庭学習の取組状況について低評価となっています。今後は、確かな学力の定着を図るために授業改善をしたり、家庭学習の内容を工夫したりしていく必要があると考えています。

②「社会的自立に向けて自ら挑戦し続ける生徒の育成」

評価項目	保護者	生徒	教師
分かる授業・指導の充実	3.0	3.7	3.3
家庭学習（宿題等）の取組	2.7	2.9	2.9
道徳・人権教育の取組	3.3	3.8	3.4
キャリア教育の推進	2.8	3.4	3.2
体験学習・学校行事の充実	3.8	3.8	3.4

#### ③「豊かな人間性・専門性を持ち人権感覚のある教師の育成」

主体的・対話的な深い学びへの授業改善については、生徒が学習の見通しをもったり、学習したことを振り返ったりして、自身の学びや考えの変容を自覚できる場面を取り入れています。今後は生徒が意欲的・主体的に学ぼうとする授業づくりやICT機器を効果的に活用できるような研修を進めていきます。また、②で述べたように、確かな学力（基礎・基本）の定着を図ったり、家庭学習が充実したものなるように課題の工夫に取り組んだりします。

③「豊かな人間性・専門性を持ち人権感覚のある教師の育成」

評価項目	保護者	教師
主体的・対話的な深い学びへの授業改善		3.2
ICTを活用した授業の工夫		3.2
地域と連携した教育活動	3.3	3.5
適切な部活動の指導	3.3	3.2
異校種間交流の実践		3.1

登下校の安全対策については、本年度登下校中の自転車事故が数件発生しました。今後も交通安全教室を充実して、交通ルールの徹底やヘルメット着用（令和五年四月以降すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化）をはじめとした、安全意識の向上をめざします。

健康教育の充実については、新型コロナウイルス感染症が五類感染症移行したものの、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の流行がなくなくなったわけはありません。また、今年度は体育祭後にインフルエンザが拡大し、学級閉鎖をしなければならぬ状況になりました。そのようなことも踏まえて、今後も引き続き、健康教育の充実を図り、教室の換気や手洗いの呼びかけをしていきます。

生徒指導の充実については、スクールカウンセ

道徳・人権教育については、生徒一人一人を大切に取組んでいます。今年度も、さまざまな人権課題について学習したり、福祉体験学習を各学年で実施したりしました。中でも、「性の多様性」についての学習では、性的指向やジェンダーアイデンティティ（性自認）を理由とした偏見や差別を受けることなく、一人一人の個性が大切にされ、誰もが自分らしく暮らせる社会の実現をめざして取り組んでいます。

体験学習・学校行事の充実については、保護者や地域の方々の協力を得ながら充実した取組ができたことに、感謝申し上げます。生きる力を育てるためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が必要です。体験活動や行事での学びを通して、自分自身を高め、成長の糧とできるように、今後も充実させていただきます。

今回いただいた評価やご意見につきまして、教職員一同、真摯に受け止め、振り返りをしていきます。そして、山崎南中学校並びに山崎南中学校の教育につなげたいと考えております。学校、保護者、そして地域と連携し、子どもたちの良さを伸ばしていきたいので、今後ともご支援・ご協力をお願いします。

よろしくお願いします





# 山崎南中学校 防災担当 道岡 悠基

阪神・淡路大震災発生から二十九年が経過しました。毎年行われる追悼行事「一・一七のつどい」は、遺族の方たちが「一九九五」ともに「一・一七」の文字に灯籠をともし、亡くなられた方々に思いを馳せていました。また、元日には石川県能登半島沖での震度七の大きな地震とともに津波が押し寄せました。尊い命が奪われ、現在も避難所生活を送る方が数多くおられます。

本校での一学期の避難訓練は、教室も変わり一年生も入学してきたので避難経路を確認することを目的として授業中に行いました。

防災・減災(災害を最小限にする工夫)を考えるにあたって、「いつ起こるか分からない」ということを、忘れてはいけないと思っています。一月十七日(水)には、従来どおりの型の訓練(机の下に隠れる、整列して校庭へ避難する)ではなく、生徒に訓練の時間を告知せず、昼休みに地震が起きたことを想定した実践的な避難訓練を実施しました。目的は、生徒の避難行動、職員の役割と連携の確認です。訓練では、適切に身を守る行動ができていない生徒や教員の指示を待っている生徒の様子が見られたり、教職員の連携に時間がかかったりと課題が見つかりました。訓練の振り返りをおとして、いつ地震が起きても生徒自身为主体的に判断し行動できるようにしたり、全教職員で緊急時の対応を確認したりするなど、課題改善に取り組んでいきたいと思えます。

一つ目は、避難グッズについてです。避難グッズには、一次の備えと二次の備えがあります。一次の備えとは、災害が発生した時に、最小限必要なものをコンパクトなバックに入れて用意しておくことです。二次の備えとは、停電や断水、ガス停止、通信障害など備えて、何日か自給自足ができる準備をしておくことです。今回は、一次の備えについて三十項目の中で十項目を選び、それがなぜ必要なのかを議論し、お互いの意見を伝え合いました。

二つ目は、避難所での生活で困ることについて考えました。トイレや水不足、食料不足、電気が使えない、プライバシーがない、密集することで感染症が蔓延してしまう、夏は暑さ、冬は寒さが厳しくなる、互いにストレスを抱えトラブルが増える、常備薬などがなくなってしまう、お風呂になかなか入れない、情報が手に入らず状況がわからない、同じ姿勢でエコノミークラス症候群を引き起こす、先が見えない不安を抱えるなど、たくさん困ることが出てきました。私たちが想像する以上に、被災された方々を取り巻く環境には厳しいものがあることを学びました。避難所での生活を余儀なくされたとき、必ずしも全員に支援物資の供給が行われるとは限りません。だからこそ、各家庭で日頃から備蓄しておくべきだと思います。

大切なのは「命」です。自分の「命」を守るためにも、大切な人の「命」を守っていくためにも、この機会にご家庭で防災について話し合ってみてはどうでしょうか。



## 命を尊ぶ集会生徒の感想

地震はいつどこで起きるか分からないので、今のうちから備えをしようと思えました。

当時の避難所と同じ範囲を実際に体験することで、避難所での生活の大変さがわかりました。

避難訓練は、お昼休みの時間でした。急に始まったので驚きましたが、焦らずに自分を守る行動をして素早くグラウンドに出ることができました。

避難所ではプライベートなどがなくなってしまう、それがストレスになってしまふことがあることがわかりました。

阪神淡路大震災などの地震を過去のことで終わらせず、被災者の想いを受け継ぎながら備えていくことが必要だと思えました。

今回は、防災グッズの中身の話し合いや避難場所での疑似体験を行いました。私にとって学ぶことがたくさんあったので家族とも話していいかなと思います。

山崎南中学校では、生徒会を通じて一月に起きた石川県能登半島地震への募金を一月二十九日(月)から二月一日(木)の四日間で行いました。石川県の同年代のみんなが一日でも早く、笑顔で学校生活が送れることを、山崎南中学校は願っています。



## 2月～3月 主な行事予定



- 15日(木) 県内公立高等学校推薦・特色選抜入試
- 19日(月) 山崎南中学校区パートナーシップ総会
- 20日(火) 県内公立高等学校推薦・特色選抜入試合格発表
- 23日(金) 天皇誕生日
- 26日(月) 3学期期末テスト(~28日)
- 27日(火) 愛校作業(3年生)
- 28日(水) PTA本部役員会並びに理事会



- 4日(月) 3年生を送る会
- 6日(水) 卒業式予行
- 8日(金) 第35回卒業証書授与式
- 12日(火) 公立高等学校入学者選抜学力検査
- 14日(木) 小学6年生対象「体験入学」
- 18日(月) 校内球技大会
- 19日(火) 公立高等学校入学者選抜学力検査合格発表
- 20日(水) 春分の日
- 25日(月) 第3学期終業式並びに令和5年度修了式
- 26日(火) 春季休業(~7日)

毎週月曜日は原則ノ一活動デーです。